

気象系統情報表示装置

Display Terminal for Meteorological & Electric Power System Information

電力会社においては襲雷を予測するための発雷情報のほか、気象災害、出水を予測するために気象庁からの各種気象警報注意報や、気象レーダによる降雨情報などが系統運用、工務などの各部門で活用されている。

当社では、従来より襲雷警報システム関連の各種装置を製作、納入しているが、その情報表示方法は「襲雷警報表示盤」のグラフィックパネル上に発雷、襲雷地点を発光ダイオードにより照光表示させる方式で構成していた。

このたび、これら発雷、襲雷情報のほかに降雨情報及び系統情報（総需要実績、主要設備運転状況）も表示し、併せて将来追加が予想される詳細な気象情報（MAICOS情報）表示への拡張性を持たせたCRTタイプの新表示装置を開発した。

本装置は電力会社の気象レーダシステムより各支店社に伝送されている降雨、発雷、襲雷情報及び系統情報を情報源として取り込み、32bit CPUのワークステーション（FA386）で信号処理し、20インチの高細精度カラーCRT上にリアルタイム表示する。

また、過去5日分の情報を記憶蓄積して再生表示や、発雷、襲雷日数等の統計処理結果の表示も行うことができる。

特長

- ① 時々刻々と変化する気象情報を、リアルタイムで高精度（降雨情報…3×2kmメッシュ）、且つ鮮明に表示できる。
- ② 過去5日分のデータを蓄積記憶しているため、履歴再生が可能であり、データの統計処理結果を3次元グラフでわかり易く表示できる。
- ③ 多種類の画面選択は、マウスとメニュー画面で簡単に操作できる。
- ④ カラーハードコピー（オプション）により、鮮明な画面記録が可能である。
- ⑤ 多人数での監視ができる70インチプロジェクター（オプション）にも接続できる。

（中島 記）



■主な仕様

電源	AC90~120V商用電源
消費電力	800VA以下
使用環境	周囲温度 0~40℃
	湿度 30~80%RH
外形寸法	幅900×奥行800×高さ1300mm
重量	約70kg
入力信号	9600BPS同期モデムより下記形式のデータで取り込む
信号形式	JIS X 5002(BSC手順)に準拠した同期データ
使用コード	JIS 8bitコード
検定方式	チェックサム及びBCCチェック (CRC-CCITT)
表示事項	
雷状況	発雷、襲雷合成画面
降雨状況	全域、支店社別画面
送電線別発雷状況	主要送電線別雷状況
流域別雨量	主要河川5水系別
主要地点雨量	主要13地点雨量
総需要実績	総需要実績グラフ表示
蓄積再生表示	
統計表示	発雷、襲雷統計
雷状況再生	過去5日分の雷状況
降雨状況再生	過去5日分の降雨状況
画面記録	
色調	64階調カラー
プリントサイズ	148×200mm